

広重が描いた江戸と 虎ノ門界隈の今に残る史跡

2008年11月4日(火)

霞が関ナレッジスクエア

「スタジオ」&「エキスパート倶楽部」

18:30~21:30 (受付18:00~)

霞が関ナレッジスクエア開設記念事業ハイビジョン映像「江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～」完成披露記念講演会を文化庁との共催で行います。作品のテーマである広重の晩年の傑作「名所江戸百景」について、また霞が関ナレッジスクエアが位置する虎ノ門界隈の史跡について講演を行います。関連して旧文部省庁舎3階の情報ひろば 文化 展示室にて、11月4日～11月7日に完成作品全編のハイビジョン上映を行います。開館時間10:00～18:00(入館17:30まで)

▶ プログラム内容

浮世絵と江戸文化について文化庁文化財部美術学芸課 文化財調査官 朝賀 浩氏が講演、また、虎ノ門・霞が関界隈の歴史の変遷と史跡について千代田区立四番町歴史民俗資料館主事(学芸員)後藤宏樹氏が講演を行います。

■ 第一部 講演会

18:30ー 霞が関ナレッジスクエア・オリジナルコンテンツ
ハイビジョンソフト「江戸TOKYO散歩」制作について
(財)高度映像情報センター(AVCC) 理事 久保田 了司
・「江戸TOKYO散歩」冬の部 虎ノ門あふひ坂 上映

18:45ー 「広重『名所江戸百景』の魅力」
文化庁文化財部美術学芸課 文化財調査官 朝賀 浩氏

19:15ー 「虎の門と国史跡 江戸城外堀跡」(フィールドワークあり)
千代田区立四番町歴史民俗資料館 主事(学芸員) 後藤 宏樹氏

■ 第二部 上映会(希望者のみ)

20:00ー 上映会(軽食付き)

21:30 閉会



講師:朝賀 浩氏

文化庁文化財部美術学芸課
文化財調査官

東北大学大学院文学研究科修了。
大阪市立美術館学芸員を経て、現職。
専門分野/研究テーマ:日本中世宗教絵画史
(中世肖像画、聖徳太子信仰の美術など)

近代以前の人々が認識していた世界、認識の範囲を超えたイマジネーションの世界を、同時代の絵画作品を通じて読み取れないかと考えています。



講師:後藤 宏樹氏

千代田区立四番町歴史民俗資料館
主事(学芸員)

昭和36年 熊本県生まれ、
昭和61年 國學院大學大学院修了。
平成元年 千代田区役所入所、千代田区立四番町歴史民俗資料館学芸員として、資料館展示業務、江戸城跡・江戸城外堀跡などの史跡および遺跡発掘調査を担当する。

▶ 実施要項

日時	2008年11月4日(水) 18:30-21:30 (受付開始18:00-) 18:30-19:40 講演会(スタジオ) 19:40~19:55 フィールド 20:00-21:30 上映会(エキスパート倶楽部:軽食付き)
受講費 (税込)	■講演会 ・無料(有料会員/web会員・一般) *どなたでも参加可能です ■上映会 ・有料会員 2,000円(協賛、法人、アカデミック、個人会員) ・一般 3,000円(無料Web会員への登録が必要になります。) *いずれも事前振込でお願いいたします。
定員	・会場受講 40名 ・ライブ配信受講 100名まで(有料会員・web会員向け:無料) (視聴環境については、お問い合わせ下さい)
申込方法	WebサイトでWeb申込み並びにFAX申し込みを受け付けています。 Webサイトから申し込む場合は、無料Web会員の登録が必要です。 FAXで申し込む場合は、下記URLから用紙をダウンロードしてお使い下さい。 http://www.kk2.ne.jp/
企画・開催	文化庁 財団法人高度映像情報センター(AVCC)
問合せ先	財団法人高度映像情報センター(AVCC) 霞が関ナレッジスクエア 事務局 担当 河合・秋葉 電話:03-3239-1121 FAX:03-5157-9225

開催場所

霞が関ナレッジスクエア

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート ショップ&レストラン西館3階

- ・銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩1分
- ・丸ノ内線/千代田線/日比谷線「霞が関駅」A13番出口より徒歩6分
- ・丸の内線「国会議事堂前駅」4番出口より徒歩6分
- ・銀座線/南北線「溜池山王駅」8番出口より徒歩7分